

# 国営明石海峡公園（神戸地区）

## 事後調査報告書 要約書

（令和 6 年度）

令和 7 年 6 月

国 土 交 通 省

## < 目 次 >

1. 事業の概要 .....	1
2. 工事計画 .....	2
3. 環境に影響を及ぼす行為と環境要素の関連 .....	2
4. 事後調査結果 .....	3

# 1. 事業の概要 (P. 1~8)

## (1) 事業者

国土交通省

(代表者) 国土交通大臣 中野 洋昌

## (2) 対象事業の名称

国営明石海峡公園 (神戸地区)

(神戸国際港都建設計画公園事業九・七・二号しあわせの森)

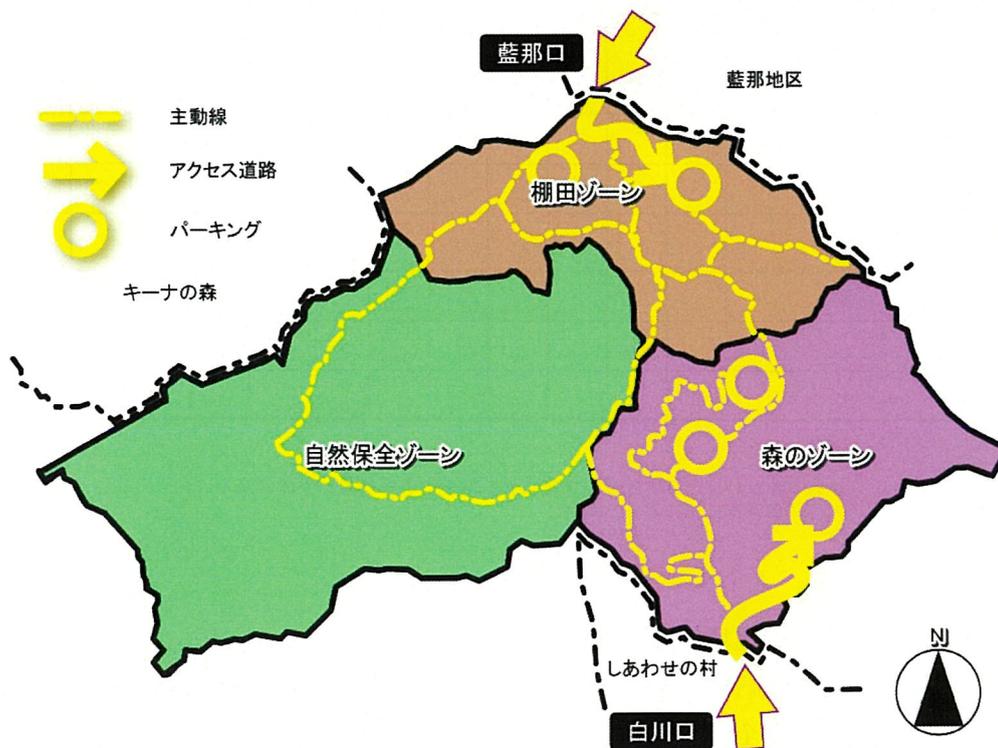
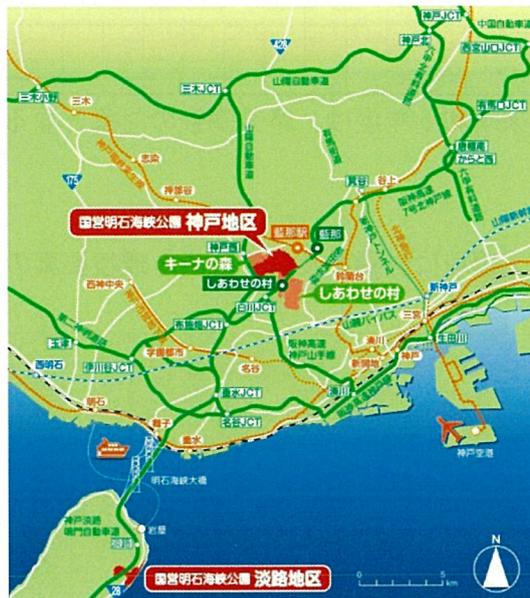
## (3) 対象事業の種類及び規模

種類：レクリエーション施設の建設

規模：面積 233.9ha

## (4) 対象事業の位置

兵庫県神戸市北区山田町藍那字田代 他



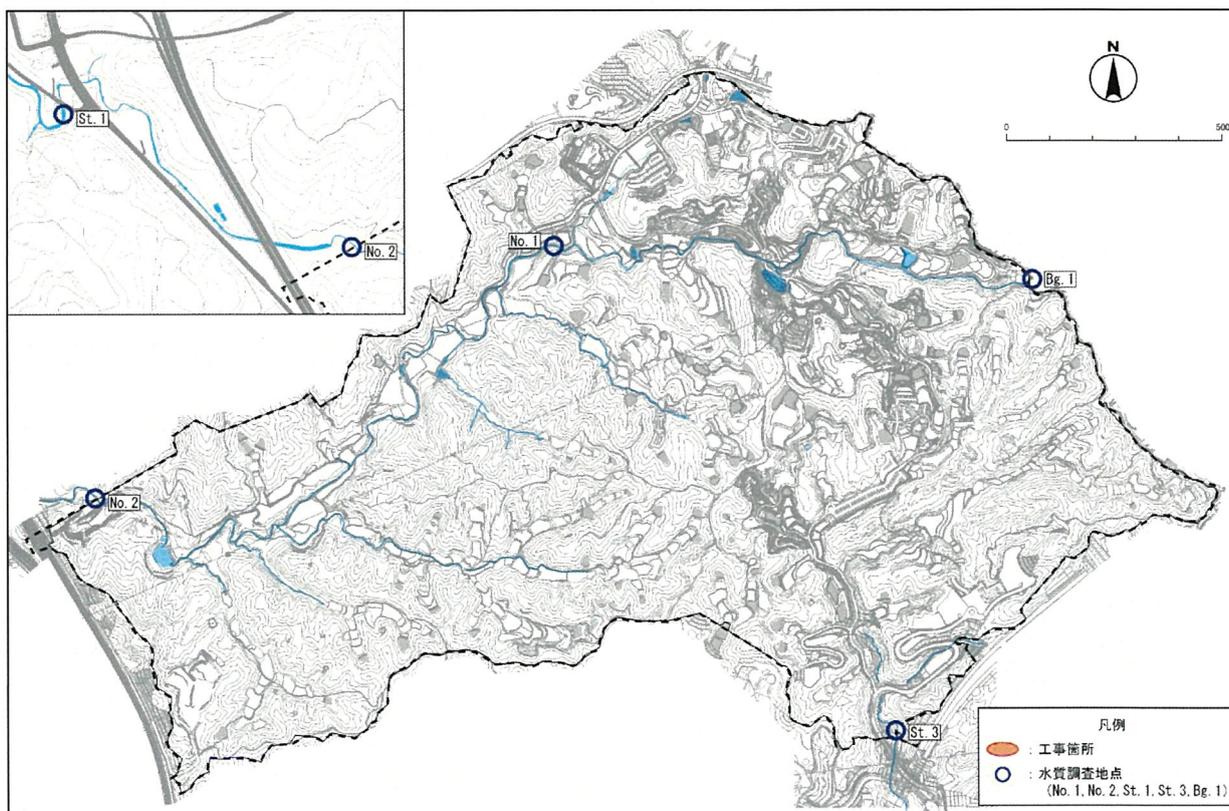


#### 4. 事後調査結果

##### (1) 水質 (P. 22~29)

##### ① 調査結果

調査項目	調査時期・地点	調査結果等
<b>環境調査</b> ・ 土工事等に伴う pH、SS、濁度	<b>【調査時期】</b> 工事期間中 (晴天時4回、雨天時4回) <b>【調査地点】</b> 木見川流域：4点 (St.1、No.1、2、Bg.1) 伊川流域：1点 (St.3)  ※夏期晴天時調査のNo.2地点は スズメガチの影響により欠測と した。	<b>【pH】</b> ・ 晴天時 7.5~8.1 ・ 雨天時 6.9~7.9 ・ 環境基準値 (6.5~8.5) を満足していた。 <b>【SS】</b> ・ 晴天時 1~56mg/L ・ 雨天時 6~35mg/L ・ 伊川流域：環境基準値 (C類型：50mg/L) を満足していた。 ・ 木見川流域：環境基準値 (B類型：25mg/L) を超える地 点あり。上流 (公園外) の周辺農地からの土砂流入や降 雨で周辺の細かい土砂が流れ込んだことにより生じた濁 りと考えられる。 <b>【濁度】</b> 晴天時 0.9~39 雨天時 4.5~25
<b>施設調査</b> ・ 調整池、沈砂池、濁水処理 施設等の設置状況及び稼働 状況 ・ 環境保全措置の実施状況	<b>【調査時期】</b> 工事期間中 <b>【調査地点】</b> 工事実施区域	・ R6年度は事後調査の対象となる工事は実施していないため、 環境保全措置はなし。



##### ② 調査結果の評価

- ・ pH に関しては、全ての地点で環境基準値を満足していた。
- ・ SS に関しては、雨天時に環境基準値を上回ることがある。要因は、降雨で周辺の細かい土砂が流れ込むことにより生じた濁りと考えられる。
- ・ 令和6年度は事後調査の対象となる工事は実施されていない。
- ・ 環境保全目標である「生活環境にほとんど支障がないこと」との整合が図られているものと考えられる。

### ③水質調査地点の変更について

令和6年度の夏季調査時にNo.2（敷地境界地点）への移動中にスズメバチによる攻撃を受け、調査員が救急搬送される事故が発生した。

No.2は車両駐車場所から遠く（徒歩約20分）、携帯電話の電波も駐車場所付近まで戻らないとつながらない状況であることから、スズメバチの攻撃から救急への一報まで20分程度時間がかかり、さらに救助までは相当時間が必要となった。

近年の地球温暖化により今後、ますますスズメバチに対する危険度が上がると想定され、調査地点への移動中などに遭遇する可能性も高くなる。

No.2は敷地境界に位置し、敷地外への工事の影響の有無を判断するうえで重要な地点であるが、今後の調査の安全面も考慮し調査地点を変更することとする。

#### 【変更地点について】

##### ■No.2に代わる変更地点

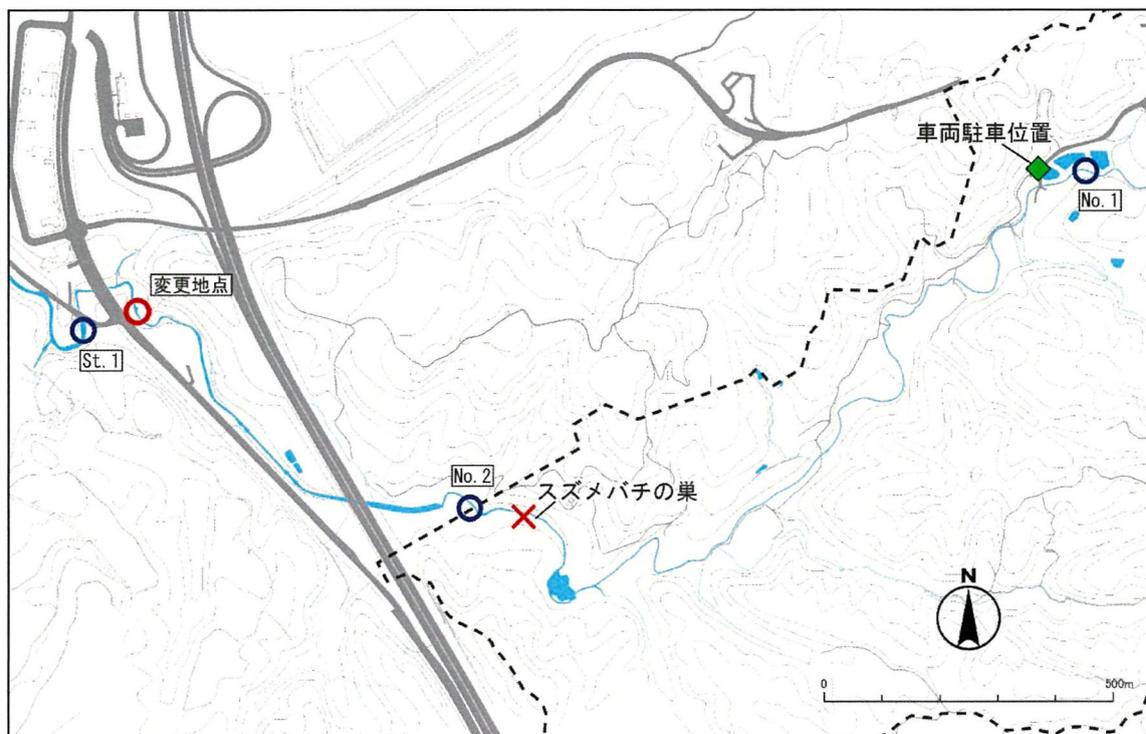
No.2の約770m下流、St.1の約220m上流に位置する地点であり、No.2から変更地点までには合流する河川はない。変更地点から下流に向かうと淵があり、その先で支川と合流する。

##### ■変更地点の水質

令和7年1月16日（晴天時調査時）に、変更地点において水質調査を実施した結果、水質、流量はNo.2と同等であった。

変更地点の水質

項目		木見川流域 調査結果			
		St.1	変更地点	No.2	
冬期	晴天時	pH	8.1	7.9	7.8
		SS(mg/L)	1	1	2
		濁度	0.9	0.8	0.9
		水温(°C)	2.4	1.5	1.4
		気温(°C)	0.8	1.6	3.8
		外観	淡黄色 透明	淡黄色 透明	淡黄色 透明
		流量(m <sup>3</sup> /day)	468	307	287



変更地点位置

(2) 植 物 (P. 30~63)

①調査結果

	調査項目	調査時期・地点	調査結果等
環境調査	<p>【工事中のモニタリング調査】 ・貴重な植物及び植物群落の保全対策内容及びその効果の確認</p>	<p>【調査日】 ・令和 6年 4月26日 ・令和 6年 5月20日 ・令和 6年10月 2日</p> <p>【調査地点】 ヒメミコシガヤ：1箇所 キキョウ：1箇所 アリマクミ：1箇所 エゾアブラガヤ：1箇所 ハリマムシグサ：3箇所 テイショウソウ：2箇所 コジキイチゴ：3箇所</p> <p>※移植後3年以上経過したアボスゲ、ヒメミコシガヤ、ホソハヘラモガカ、クノアシ、オクマルも補足的に生育状況を確認</p>	<p>【ヒメミコシガヤ】 ・表土移植を行った箇所5箇所を確認。花序や結実も確認された。 ・移植地は日当たりのよい草地となっている。</p> <p>【キキョウ】 ・移植時と同数を確認。開花の跡もみられた。 ・移植地は日当たりのよい草地となっている。</p> <p>【アリマクミ】 ・移植時と同数を確認。 ・移植地は日当たりのよい草地となっている。</p> <p>【エゾアブラガヤ】 ・移植時と同数を確認。花序や結実も確認された。 ・移植地は日当たりのよい湿地となっている。</p> <p>【ハリマムシグサ】 ・移植時と同数を確認。開花も確認された。 ・移植地は林縁部に位置し木漏れ日程度の日当たりとなる。</p> <p>【テイショウソウ】 ・移植時と同数を確認。開花も確認された。 ・移植地は林縁部に位置し木漏れ日程度の日当たりとなる。</p> <p>【コジキイチゴ】 ・移植時と同数以上を確認。開花も確認された。 ・移植地は日当たりのよい林縁部や湿地法面の下部に位置する。 ・一部で高茎草本の繁茂がみられた。</p> <p>【補足調査】 ・5種（アボスゲ、ヒメミコシガヤ、ホソハヘラモガカ、クノアシ、オクマル）ともに昨年度と同数以上を確認。開花・結実も確認された。</p>
施設調査	<p>・環境保全措置の実施状況</p>	<p>【調査日】 ・工事期間中</p> <p>【調査地点】 ・移植地及び工事実施区域</p>	<p>維持管理の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開園区域に位置する移植地は、定期的に草刈り等の維持管理が行われている。</li> <li>・各種の移植地は、植生、日当たり、水分条件等から見て概ね生育適地となる湿地環境や草地環境、林縁環境が形成されており、移植した植物の生育も確認されている。</li> <li>・コジキイチゴの移植地の一部で高茎草本の繁茂が確認されたため、草刈りを実施し環境改善を図っている。</li> </ul>

非公開

## ②調査結果の評価

- ・これまで環境保全措置を実施してきた移植植物について、移植先で生育個体数の大きな変化もなく、開花等の状況も確認されるなど、移植地で根付いた状況が確認されている。
- ・移植地の環境については、概ね各種の生育適地となる環境が形成されている。一部で高茎草本により被陰されるような状況も確認されたが、草刈りを行うなど環境改善が図られている。
- ・国営明石海峡公園神戸地区では管理センターを設置し、開園区域内での草刈りを定期的に行うなど植生の管理を行っている。
- ・以上より、事業者として可能な限り環境影響の回避・低減の措置を行っているものと考えられる。